

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

いらかの家 愛知の住まい

グループの名称

一般社団法人 愛知県建設団体連合会

直近採択グループ番号

06-0417-0403

(グループ代表者)

代表者名

尾崎 立司

代表者印

代表者所属先

愛知県建設団体協議会

代表者所在地

愛知県名古屋市北区清水5-6-9

代表者電話番号

05-2910-0608

(グループ事務局)

事務局事業者名

一般社団法人愛知県建設団体連合会岐阜支部

事務局担当者名

田邊 由美子

印

事務局郵便番号

500-8447

事務局所在地

岐阜県岐阜市大倉町12番地

事務局電話番号

058-271-3003

事務局FAX

058-271-5630

事務局担当者E-mail

tanabe-yumiko@houscrum.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	いらかの家 愛知の住まい
2. グループの名称(必須)	一般社団法人 愛知県建設団体連合会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0417-0403
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県及び近隣県
5. 結成年(必須)	2011 年
6. グループ代表者名(必須)	尾崎 立司
7. グループ代表者の所属先(必須)	愛知県建設団体協議会
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県名古屋市中区清水5-6-9
9. グループ代表者電話番号(必須)	05-2910-0608
10. グループ事務局事業者名(必須)	一般社団法人愛知県建設団体連合会岐阜支部
11. グループ事務局担当者名(必須)	田邊 由美子
12. グループ事務局郵便番号(必須)	500-8447
13. グループ事務局所在地(必須)	岐阜県岐阜市大倉町12番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	058-271-3003
15. グループ事務局FAX番号(必須)	058-271-5630
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	tanabe-yumiko@houscrum.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	17	施主が直接製材工場へ持込む事がある。また原木業者が海外の場合、念書が入り出ないため、登録していない
II. 製材・集成材製造・合板製造	26	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	21	
IV. プレカット	14	
V. 設計	14	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	4	
VIII. I～VII以外の業種	6	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
		愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内
		岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内	
	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		13	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		29棟				
					1450㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		14棟				
					700㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	上限棟数を踏まえた上で、先着順に割り当てていく。残棟数が20%になった時点で施工事業者に確認を行い割り振りを行う。なお、事業者がオーバーする場合は、抽選により割り振る。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いらかの家 愛知の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び近隣県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 一般社団法人 愛知県建設団体連合会	(結成年) 2011 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0417-0403	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	愛知県及び近隣県においても東海・東南海地震等に備え安全安心な住まいを提供するため耐震等級2または、3を確保すると共に、この地域においては、古くからのづくりの盛んな地域で建築資材では、セラミック産業又、、瓦に至っては三州瓦が日本三大瓦の生産地でもあることから瓦の使用を推奨する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域材を用いた木造在来工法を基本構造とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	愛知県及び近隣県においては、名古屋市内のような防火・準防火地域から調整区域まで広く、敷地面積も30坪前後から100坪以上の敷地まで多種多様であることから特段のデザインルールは定めないが、夏の暑さ、湿気には配慮し風通しの良い計画を施すと協議し設計を図る。	○
④①～③の背景	・地震の発生確率が高く、想定される東海・東南海地震の他にも活断層型の地震も過去にあり東海地域での地震リスクは非常に高い。 ・この地方の気候は、夏は暑く高温多湿で冬は、濃尾平野に吹き込む季節風「伊吹おろし」が冷たく乾燥した地域である。 ・年間の日射量は、愛知県では全国6位2160時間の日射量があり格付もAランクの地域である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建築主と安心して住まいづくり、建築物が構築できるよう設計事業者や施工事業者と建築主とコミュニケーションが図れるよう重要事項を確認しながら信頼関係を図る。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱・梁・桁・土台の主要構造材は、地域材を80%以上使用することを必須とする。 ・寸法等においては、(財)日本住宅・木材技術センターのスパン表を用いるほか、許容応力計算等の構造計算により安全を確認した寸法とする。	◎
	①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様は、住宅金融支援機構の作成した、フット35対応「木造住宅工事仕様書」を利用することとする。	◎
	②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 川上から川下まで参加する事業者が、共通ルールにおいて仕様を定めた資材に関し、大会が定める仕様確認書に基づき地域型住宅で担う効果を確保し品質を確保する。	○
	②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 仕様確認書の作成により本事業における共通ルールの不確実性をなくするとともに遊るような無駄をなくす。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グリーン化事業推進委員会を設置し「いらかの家 愛知の住まい」の利用促進並びに品質の確保に取り組む。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿型住宅(長期優良住宅)や高度省エネ住宅(認定低炭素住宅・ゼロ・エネルギー住宅)及び優良建築物に技術的審査において申請時における仕様及び図面不具合の無いよう審査機関との連携を図りスムーズな取り組みを行う。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNが編集した「木造住宅の工事管理の実務」は、工程順に現場管理の要点をまとめた実践的な手引きでありこれに沿うことで施工基準の整備を行う。尚、非住宅の優良建築物においても木造の建築物であり基本事項は参考となり同様とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNが編集した「木造住宅の工事管理の実務」に記載されている《木造住宅施工状況現場検査チェックシート》を活用することで、検査ルールを明確化にでき、シートに基づき検査を行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一式表示ではなく、数量、単価を明確に表記は、必須とし、可能な物については、商品名及び品番等の記載を努力目標とし信頼性の向上に努める。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の検査に際し、各社事前に自主検査を行いグループの信頼性の向上を図ることとする。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現状では、日曜日及び隔週土曜日の休日が多い中、全国木造住宅生産体制推進協議会「木造技能者育成検討委員会」平成27年3月の提言に基づき週休二日を普及促進に努めていきます。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして建設職人の技能・経験が蓄積される建設キャリアアップシステム(本年度より稼働)への普及促進に努める。	◎
	③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 愛知県建設団体連合会各団体が、国保組合を持っており、社会保険加入促進を図る取組を行うと共に、見積書には法定福利費を明示するよう指導している。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律の施行に伴い必要な改善等の環境整備に取り組んでいきます。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建築確認申請及び長期優良住宅又、低炭素建築物技術的審査においては、(財)愛知県住宅センターを第三者機関として行うことを必須とする。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いらかの家 愛知の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び近隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人 愛知県建設団体連合会	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0417-0403	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿型については、(一社)JBNが指定する図書を、住宅履歴情報として蓄積する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿型については、(一社)JBNの「いえもりかるて」情報サービス機関を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告書提出に際し(一社)JBNからの住宅履歴預かり証の写しの提出を求め事務局が確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人愛知県建設団体連合会が推進する指定次期(1年・2年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)に点検を行い点検者の判断により状況に応じ修繕等を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 既存住宅現況検査員講習に基づくとともに担当者の判断及びお客様の予算を勘案し補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNよりお客様リストを基に点検時期を施工者へ通知する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業推進委員会の主催により「住宅履歴講習会」の開催を定期的に行う。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ団体が出展するイベントの他、参加各社が行うイベントにおいて木工教室等を実施する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ団体が出展するイベントの他、参加各社が行うイベントにおいて相談会等の開催を行う。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業推進委員会で維持管理において問題が生じた場合には、検討を行う。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の引き渡しにおいて(財)住宅金融普及協会が発行する「JBN住まいの管理手帳・戸建て編」を用いて住まいの日常の清掃、お手入れ、点検等の説明を行う。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: バックアップ体制として「1万円/棟のボンド基金を積み立て、基金を用いてグループ内の事業者	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一財)ベターリビング等より講師を招き、定期的に勉強会の開催を図る。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		「JBN住まいの管理手帳」講習会用のDVDを事務所へ常備し、会員の要望に応じて講習会やサポートを随時実施する。	◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBNで定期的開催される長期優良住宅セミナーとの受講を促すとともに施工経験者が要望により個別に指導する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅金融支援機構の作成するフラット35対応の木造住宅工事仕様書のチェックリストに基づき施工する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅金融支援機構の作成するフラット35対応の木造住宅工事仕様書のあるチェックリスト及び愛知県建築住宅センターの完了検査において確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBN等が開催する営業研修等を受けるとともに各社が受注目標を持ち目標達成できるようサポートしていく。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして法改正、一部高性能商品等の情報発信を行う他、新しい技術等に関しての研修会を定期的開催するなど、常に技術力向上に努める。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBNやメーカー等の開催する経営セミナー等に積極的に参加できる機会を設け研鑽を積む場の提供を図る。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 2
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループは、愛知県木造住宅生産体制強化推進協議会に属しており講習会の事業運営団体	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		各関連団体及び協賛企業等からの講習会、新商品等の情報を精査し、早期に会員へ発信する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いらかの家 愛知の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び近隣県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人 愛知県建設団体連合会	(結成年) 2011年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0417-0403														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	・建材流通(木材)業者やプレカット事業者がが発行する木拾い表、納品証明書等により事務局で使用部材の使用量を確認する。 ・使用する材料は、様式2-1で使用する地域材に関する事項による木材を使用する。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明														
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅及び木造建築物の供給予定を事務局が施工業者に聞き取りを行い、都度、流通等の事業者へ連絡することで使用する材料・数量を把握することが可能となる仕組みとしている。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通業者、プレカット事業者、製材工場、原木供給事業者と連携し事務局において、毎月の木材市場動向を把握し地域価格情報の共有化を図る。	◎												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各施工業者が地域型住宅及び木造建築物の計画提案に際し、事務局と連携し概算予算等策定サポートの中、需要予測を行う。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 116枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 435坪	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 116枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 116枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高温多湿な地域であり通風計画に配慮した平面計画に策定を推奨している。	○												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	和の住まい推進関係省庁連絡会議が作成した冊子「和の住まいのすすめ」を事業者及び住まい手に渡し和の住まいへの理解を深めてもらえるよう取り組んでいる。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	JBNと全国建設労働組合総連合の2団体で構成する(一社)全国木造建設事業協会(略称:全木協)が都道府県と応急仮設木造住宅建設に関する協定を現在までに 30都県と締結している。全木協の支部である全木協愛知県支部を構成する一般社団法人愛知県建設団体連合会では、愛知県で災害が起こった時には、地場工務店・大工等の力を結集して 災害復興にあたることとしている。	◎												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	東日本大震災また、熊本地震の復興に資する取組み同様に、全木協愛知県支部でも要請に際して支援ができる体制づくりをしている。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) いらかの家 愛知の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び近隣県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 一般社団法人 愛知県建設団体連合会	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0417-0403	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>1. 高度省エネ型</p> <p>認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅の高度省エネ型住宅について (一社)愛知県建設団体連合会では、2011年に設立後、会員は、(一社)JBNで開催される断熱設計技術者講習、断熱施工技術者講習を積極的に受講しており温熱環境に対する意識と技術・計算についても習得してきました。</p> <p>省エネ・低炭素対応として外皮計算、一次エネルギー消費量計算を理解した各会員が、夏は暑く高温多湿で冬は、濃尾平野に吹き込む季節風(伊吹おろし)が冷たく乾燥した地域であることから温熱環境に配慮した、省エネルギー住宅を建築することを推進しています。夏冬の太陽軌跡から日射のコントロールを行い、夏は日射遮蔽をし、通風計画、気密性能を十分に高めた上で、換気によるエネルギー損失を最小限にとどめ、また、冬はより多くの日射を住戸に取込み、十分に高めた断熱性能によりエアコン等の暖房機器負荷を大幅に削減します。結果、建物本体の断熱性能を高めた事により、機械に頼り過ぎない家づくりを実現しております。</p> <p>また、愛知県における年間の日照時間は2160時間と全国6位の日射量があり太陽光も利用には適した地域であり屋根面積の確保できる地域では、太陽光発電の設置も有効でゼロ・エネルギー住宅の取り組みも推奨しています。</p> <p>尚、ゼロ・エネルギー住宅においては、平成28年省エネ基準BELS認証「ゼロ・エネルギー住宅相当」の取得を目指します。</p> <p>性能値                  認定低炭素住宅及び性能向上計画認定住宅:RO 10%以上                  高度省エネゼロ・エネルギー住宅 :RO 20%以上、R 100%以上</p> <p>2. 優良建築物型</p> <p>優良建築物については、建物用途が、事務所や倉庫・作業場や店舗と一定以上の空間の確保が求められることから、許容応力計算等において耐震性能を確保していくこととします。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。